



当天的照片

当日の写真



今年的 SGRA 中国论坛依旧由大家所熟悉的孙建军老师（北京大学）担任大会主持，论坛由此拉开序幕。北京大学会场约有30人到场，加上线上参与者在内，约有150人参加了本次论坛。

今年もSGRAチャイナ・フォーラムではおなじみの孫建軍先生（北京大学）の総合司会でフォーラムがスタートしました。北京大学の会場には約30名が集まり、オンライン参加者を含めて約150名がフォーラムに参加しました。



在演讲开始之前，北京大学外国语学院李淑静书记（左）、渥美国际交流财团今西淳子常务理事（中），以及提供后援支持的北京日本文化中心野田昭彦所长（右）分别致开幕词。

講演に先立ち、李淑静書記（北京大学外国语学院・左）、今西淳子常務理事（渥美国際交流財団・中）、後援の野田昭彦所長（北京日本文化センター・右）から開会の挨拶がありました。



在古田亮老师（东京艺术大学大学美术馆）的演讲中，阐明了“琳派”是近代的发明这一事实，并指出，“琳派”这一传统，与其说是美术史家书写的，不如说是在近代美术的同时代艺术运动之中逐步被建构的。

古田亮先生（東京藝術大学大学美術館）の講演では、「琳派」が近代に創造されたこと、そして美術史家よりもむしろ近代美術の同時代のムーブメントのなかで「琳派」という伝統がつくりあげられていったことが明らかされました。



论坛邀请了战晓梅老师（国际日本文化研究中心·左）、中村丽子老师（东京国立近代美术馆·中）以及董丽慧老师（北京大学艺术学院·右）担任指定讨论者。

指定討論者として戦曉梅先生（国際日本文化研究センター・左）、中村麗子先生（東京国立近代美術館・中）、董麗慧先生（北京大学芸術学院・右）をお迎えしました。



本次论坛也在林少阳老师（澳门大学）的主持下进行了自由讨论，各位报告学者进行了富有启发性的讨论。



今回も林少陽先生（澳门大学）の司会で自由討論が行われ、登壇者による興味深い議論が交わされました。



最后，作为清华东亚文化讲座的代表，王中忱老师（清华大学）致闭幕词。

最後に清華東亞文化講座を代表して、王中忱先生（清華大学）より閉会の挨拶を頂戴しました。



衷心感谢各位的参与。
期待明年再会！

ご参加くださった皆さま、どうもありがとうございました。
また来年お会いしましょう！